



互いに向き合い熱戦を展開

町民が参加した親善囲碁将棋大会



碁盤に向かい真剣な表情を見せる参加者

第56回町民親善囲碁・将棋大会は11月23日、町体験交流館で開かれ、約30人が参加し熱戦を繰り広げました。囲碁の部一般Aは渡部義一さんが、将棋の部一般Aは高畑初正さんがそれぞれ優勝しました。各部門の成績は次のとおりです。

- ▶ 囲碁一般A：①渡部義一さん②渡部秀寿さん③桑原宏さん
- ▶ 囲碁一般B：①佐藤金雄さん②押田幸一さん③高田喜志男さん
- ▶ 将棋一般A：①高畑初正さん②野矢雅仁さん③小沢孝雄さん
- ▶ 将棋一般B：①国井正一さん
- ▶ 将棋小学生：①加藤駿太君②大堀佑騎君③鈴木康之君

小学校の活躍を町長に報告

翁島小と長瀬小が各賞受賞報告



各賞の受賞報告に役場を訪れた児童たち

翁島小(五島喜代子校長)と長瀬小(江川浩校長)の児童らは11月20日、役場を訪れ、津金要雄町長に各賞受賞の報告をしました。翁島小は、県教育・文化関係表彰と水環境保全活動・自然環境保全活動等功労者表彰優秀賞を受賞。長瀬小は交通安全優良校に選ばれたほか、全日本小学校バンドフェスティバル東北大会で銀賞を受賞しました。この日は、翁島小の川井綾乃さん(6年)と大平陸人君(5年)鈴木英幸君(同)、長瀬小の渡部穂高君(6年)と野内李久里さん(6年)、佐藤雄士君(同)が、表彰状や盾を披露しながら津金町長に受賞を報告しました。

保科正之公ゆかりの地を視察

猪苗代区長会が長野県高遠町を訪問

猪苗代地区区長会(本間昌儀会長)の研修旅行は11月20、21の両日行われ、区長会といなわしろ伝歩人会のメンバーなど15人が参加しました。

今回は、町にゆかりの深い会津藩主・保科正之公が青年期を過ごした長野県の旧高遠町(現伊那市高遠町)を訪問。保科公を顕彰する現地の取り組みを視察し、現地では4月に完成した「保科正之公と母の立像」について旧高遠町長の伊藤義人伊那市観光協会副会長から説明を受けたほか、2年後に計画している保科公生

誕400年祭や、NHK大河ドラマに正行公を取り上げてもらうための署名運動などについて聞き、地域を挙げた積極的な取り組みが進められていることを学びました。また、保科家の菩提寺の建福寺や保科公の母を祭る浄光院、高遠城址公園なども巡りました。

本間会長は「旧高遠町の取り組みは関係機関や住民の連携の良さと熱意を感じた。保科公ゆかりの地として我々の猪苗代町も盛り上げに向け見習うべき点が多い」と話していました。また、猪苗代町と旧高遠町は平成16年に友好都市の調印を行って

いるということもあり、参加者からは、「今後は両町協同の活動推進も必要」との意見も出されました。会津藩主として、また徳川幕府4代將軍家綱の補佐役として民を思う政治を貫き通した保科公。生前のみならず、没後においても人々に影響を与え続ける名君は、猪苗代町と旧高遠町との絆をより強めてくれたようです。



4月に完成した保科正之公と母お静の方の石造の前で記念撮影

節目を機に今後の飛躍誓う

猪苗代山岳会が50周年記念式典



今後ますますの発展を誓う江花会長

猪苗代山岳会の創立50周年記念式典は11月28日、猪苗代観光ホテルで開かれ、会員やOB、来賓ら約50人が出席し、半世紀の歩みを振り返りながら一層の研さんと飛躍を誓いました。

式典では江花俊和第6代会長が「創立に尽力された先輩たちの熱い思いを胸に刻み、楽しく心豊かな会の発展に努めていきます」とあいさつ。式典に続き記念講演会も行われ、会員で新潟県の山岳ガイド佐藤賢さん(56)＝猪苗代町出身＝が「『夢』をちからに！～磐梯山からエベレストまで～」と題して自らの登山への熱い思いなどを語りました。

建物無火災新記録へまい進中

町民が一丸となった取り組みを



左から増子副署長、土屋消防団長、六角署長

町の建物火災の無火災は、昨年12月4日の発生を最後に1年が経過しました。これまでの建物火災の無火災記録の389日は間近です。

11月6日にすべての火災の無火災200日表彰を受賞しましたが、残念ながら11月10日、町内でごみ置き場の火災が発生してしまいました。しかし、建物火災無火災はまだ継続中です。

これからは、空気が乾燥し、火災が多く発生する時期。町民の皆さん一人一人が防火意識を高め、消防署や消防団と協力して、無火災新記録更新を達成しましょう。